



# 市民活動ニュース

## きらめき亀山21

2006年10月号

### 回覧



### 第66号

# 秋です!紅葉の季節を歩こう

## その1 東海道シンポジウム「阪之下宿」大会 歴史の道ウォーキング

今は歩く人もなく、ひっそりと時を刻む旧東海道、鈴鹿越えの細道、急坂と苔むした石畳。ここを先人達はどんな思いで歩き来たのでしょうか。歩くしか術のなかった時代を想い、タイムスリップしてみませんか?

10月29日(日)午前9時20分、関支所に集合、出発。坂下を経て鈴鹿峠の上まで旧東海道を歩きます。途中、沿道に設けた茶店で郷土料理と伝統菓子の振舞いがあり、午後3時頃、鈴鹿峠からバスで関支所へ帰ります。参加費(大人500円 小人300円)要申込。200名になり次第締め切ります。申込先 鈴鹿馬子唄会館 /fax 0595-96-2001



## その2 あふれる紅葉の山里 加太を歩く

600年以上の歴史を秘めた加太。この山里をゆっくり歩いてみませんか? 亀山あるこうかいクラブでは紅葉たけなわの加太駅を基点に約3時間かけ周回します。途中には豚汁のふるまいがあるかも? 参加費: 会員外300円 日時: 11月19日(日)午前9時30分 JR加太駅前集合  
申し込み先: 亀山あるこうかいクラブ(不破 携帯 090-7864-3343)

### 目次:

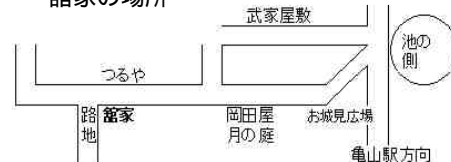
紅葉の季節を歩こう 館家が市の文化財に	1
市民交流の日 子どもの心を知ろう	2
講演に参加した皆さまのアンケートから ぽっかぽかの会 市民交流会実行委員会	3
鈴鹿川は魚の宝庫 市民参画協働室から イベントのお知らせ	4



## 東海道のまちなみを支えてきた蔵のある家、館家

旧東海道筋西町、呉服商だった館家の所有者の館逸雄さんは、亡くなられる前は遠隔地に住んでおられましたが、自分自身が住まなくなっても家屋や庭の手入れ等この建物の維持、管理に心血を注いでこられました。以前「宿場のにぎわい復活一座」が屋号看板を掲げたとき、屋号「ますや」の由来を説明いただいたこともありました。広縁の外にある大きな桐の木は大切なものを後世に残すという重さを見

館家の場所



守ってきたかのようなのです。このたび館家から亀山市に寄付されました。

大きな蔵、保存状態のよい建物、いろいろな利用が考えられます。町かど博物館、東海道を歩く人々の休憩場所、市民団体の集会所、茶室を生かしたお茶会、さまざまなコンサート、文化活動の会場、小学生の体験学習など、人の出入りが途絶えることのないように活用して、歴史ある街道と家々を大切にしてきた元当主殿の想いに答えたいものです。

「宿場のにぎわい復活一座」 中浦

## K I F A 亀山国際交流の会5周年の集い 華やかに!

9月24日(日)、亀山エコーの正面ホールでKIFA亀山国際交流の会5周年の集いが開催されました。壁いっぱい資料パネル、モンゴルからの留学生による馬頭琴演奏や、伊賀から参加したアンデスの伝統楽器の演奏、そしておなじみ華やかなサンバの踊りと盛り沢山の内容でした。

やがて20人に1人は外国籍となるグローバルタウン亀山にふさわしく多国籍な雰囲気にあふれたひとときでした。



**定例市民交流の日** 2006年9月21日（木） 3F大会議室 出席者53名**メインテーマ「子どもの心を知ろう」～子どもの心と発達**

今回は子どもに関するテーマの続きとして、子どもの心と発達について保健福祉部子ども総合支援室長で臨床心理士の志村浩二さんに講演をいただき、皆さんで話し合いました。

志村浩二先生は発達障害学、嗜癖心理学の専門家で臨床心理士です。

**将来に希望を見出せない子ども達**

- ・つい最近まで日本の文化では年を重ねることは価値が高かった。しかし、現在の文化では、若い方が価値があることになった。これは子どもの世界にも影響している。子どもたちは、大人になることに価値があるとは考えなくなった。理想の大人を身近に見い出せないでいる。
- ・ジベタリアンについて。家の中の心地よさを外に持ち出している人たち。説教されると、自分の家に入ってこられた気分になる。自分の部屋を広げた結果がジベタリアンである。一方、外に広げるのに失敗し、家に退却した状態が引きこもりとなる。

**リストカット（手首を傷つける）のケースから**

マザコンの夫、結婚で夢を断ち切られた妻の子育てから、母は子どもを自己実現の対象にした。子どもは自分が感じることをあきらめ、いつも母はどう思うかということをも優先に考えるようになり、感情を抑圧する状態となった。母親にとって一時的には自分の葛藤を紛らわした子育てとなるが思春期には通用しなくなる。思春期は自分ではどうしようもない身体の変化に向き合う時期、リストカットで手首を切る痛みの感覚を繰り返すことで自分を感じ味わうようになった。習慣化し繰り返すことも多い。

世代間の境界をなくして、親子のカプセルを作ったことに問題がある。また、世代を越えて連鎖となることもあり、親との関係、配偶者との関係だけに収まらないこともある。

質問：リストカットはなぜ女性に多いか。

答：リストカットが女性に多いのは事実。思春期に身体の変化の大きい女性の方がその混乱の表現の仕方も劇的である。男性はむしろ回避的な表現でひきこもり等が多い。

子育ての中で、今日の自分は輝いていると認め、自分を具体的にできることで評価し、誉める。大人（親）がきちんと自分を評価できることで、子どもは身近なモデルを見つけることができる。

子育てを母親一人でがんばっても難しい。家に帰った父親は仕事モードから情緒モードに切り替えることが必要。相手の話を聞きあう、良いアイデアとか合意を得る。良いコミュニケーションの最初は相手の愚痴を聞く。相手は自分のことが聞いてもらえたことで満足するし、効果がある。

**母親と父親のあり方は？**

母親は、ちょっとくらい口うるさくていい。小言で小爆発させている。

父親は、これから必要なのは妻の愚痴を聞き、妻の精神的支えとなる「夫」であり、子どもと身体を張って遊び、身体を通して子ども達に安心感を感じさせる「父親」としての役割。

意見：今のお父さんに妻の愚痴を聞く元気があるのか？

答え：父親の意識の問題では。仕事がコミュニケーションをしなくてもよいような免責にならないようにする意識がまず必要だろう。

質問：最近増えている一人親家庭ではどうするか？

答え：一人親家庭ではいろんな社会資源を活用し、たくさんの社会資源と繋がるように気持ちを持つこと。すると、夫婦間のコミュニケーションと同じ効果がある。

質問：失感情（感情を抑圧し過ぎて自分の気持ちのありかが分からなくなってしまっている状態のこと）の子にはどう対応したらよいか。

答え：いきなり感情を取り戻せといっても駄目、あなたが好きなのだと教えて喜怒哀楽を見せる。自分を大切に思っていることを思い出させ信頼関係を作る。

質問：まだ話せない幼児にどうコミュニケーションをとるか。

答え：心理学では鏡映という言葉がある。赤ちゃんは自分が笑っていることを母親のうれしそうな笑顔で判断する。自分がやったことに親のリアクションで心地よさを身につける。これがコミュニケーションになる。

外食とショッピングは子どもにとって刺激の多いパラダイス。どうしても動き回ったり、調子に乗って騒ぎやすい。しかし、これは親のしつけの責任だけとはいえない。このような収まりがつかないときは駆け引きをする。例えば、「これだけは守れる」ところの交渉をする。そのことがコミュニケーションの育て方の基本になるだろう。



会場は若いお母さんでいっぱい

心理学って難しいって思っていたけど評判どおり志村先生は素人にもわかるように話してくれました。何かとストレスの多い時代、子どもだけでなく子育てにかかわる大人の心の健康にも強力な助け人になっていただけそうです。



## 皆さまの感想から

志村さんの話しぶりがよかった。話上手です。改めて考えさせられることが多かったです。

「自分にご褒美を与えること」が良かった。市内の実情がよくわかるし、こんな動きが市内のいろいろな地域でおきると、住みよい地域になると思う。今まで思ってもみなかった見方で、現在の子どもの問題を取り上げてもらったので、これから子どもたちを違った見方でみるのが出来そうです。わかりやすいお話で、大変勉強になりました。毎日子どもと向き合うためにとっても具体的な話が聞けてよかったです。明日から少しずつ自分にできることから実行していきたいです。今日は本当にありがとうございました。

わかりやすいよいお話でしたし、たくさんお客さんがいらっしやるのがうれしかったです。

人を惹きつける話術の中で子どもとの付き合い方、向き合い方を教えてもらいました。

子どもの成長過程における心理的なものにすごく興味がありましたので参加させていただきました。まだ、子どもは小さいのですが、引きこもり、リストカット、地べた族、参考になりました。ありがとうございます。長男（6年生）に対しての接し方に悩んでいましたが、話を聞かせてもらい、参考になったし、自分自身が勇気を持てたし、元気になりました。ありがとうございました。次回もぜひ参加したいです。

堅苦しい話でなくて楽しかった。自分の娘（次女・小6）のことが心配で聞きにきたのですが、いろいろとヒントになることがあり、自分の家に置き換えると思いがたることがあり、自分を徐々に変えようと思う。

話がわかりやすい。自然に聞いていられる。知らなかった世界に入り込むことができた。

失感情の今どきの感情を取り戻すには、大げさな感情を示すのがよいということは勉強になりました。

具体的な話で、すぐにでも実行できそうでよかったです。夫にも「聞かせてやりたい」でした。

子育て中なので、とても参考になりました。もっとお話聞きたかったです。

志村さんの今までとは違った面を知れました。堅くなく、わかりやすいお話がきけてよかったです。

もっと話を聞きたかった。私自身にあてはまることがありました。

小1の子どもが学校にはいいのですが、学童がイヤ！どうすればいいのかわからない。

自分の感情・家族の顔・表情・言葉が浮かびながらお話をききました。「これでいいんだ！」「そうだったんだ！」という自分の中の確かめと発見をいただきました。市民交流の日でとりあげてもらいたいテーマ・意見 何回か続けて志村先生に来て頂いてもいい。亀山での教育環境・亀山の観光 片親の子育て・育児 片親だけなので、両親の役割ができる方法 ありがとうございます。P.S.ご多忙だと思います。お身体気をつけて。

## 鈴鹿川水系は魚たちの宝庫

亀山の自然環境を愛する会

この川には、清流しかいないものから比較的汚れた川にいるものまで多種多様の魚が住んでいます。源流近くにはタカハヤ、カワムツ、ヨシノボリ、ドンコ、アカザ、ネコギギ（天然記念物）が。

少し下るとオイカワ、スジエビ、放流されたアユが現れます。上流に近い中流域にはシマドジョウ、カマツカ、ドジョウ、時にはナマズが顔を見せ中流域に入るとタモロコ、フナ、ギギ、淀みにはメダカ、カダヤシが群をつくります。ときにタイリクバラタナゴが網に入ったりザリガニが巾をきかせだします。鈴鹿市に入ると下流に近い中流域となりコイ、ウキゴリ、ヌマエビ、テナガエビ、ウナギそしてブラックバス、ブルギルが現れ、さらに下流の最後の堰堤より下流には天然アユが堰堤に阻まれ上流に上れずに住みつきます。汽水域の河口付近ではマハゼ、ヨウジウオ、スズキ・ボラ・シマイサキ・アジなどの稚魚・幼魚が見られます。

このように河口より40km程の短い川に淡水魚だけで27種余、海水稚魚を入れると33種余になる鈴鹿川水系は貴重な魚たちの宝庫といつてよいのです。

1925 - 1935年頃を体験した人達の中には、もう鈴鹿川には魚はいないと諦めている人が多いようですが、その頃の魚たちが数は減少したけれど人間と共生しようと黙々と生き伸びている逞しい現実があることを我々は認識し守っていききたいものです。 浅田 記



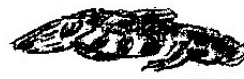
タカハヤ



カワムツ



アカザ



ヨシノボリ



ネコギギ

## 市民部市民参画協働室からのお知らせコーナー

地域で何か始めてみませんか？一足先に活動を始めている方のお話です。

### 第4回市民活動チャレンジ講座

#### 「おもちゃドクター現る

～長島おもちゃ病院の取り組み

講師：長島おもちゃ病院長

丸山 善頌 氏

日時：10月14日（土）PM1:30～3:00

場所：亀山市総合保健福祉センター

あいあい2階大会議室

### 第5回市民活動チャレンジ講座

#### 「話題のコミュニティビジネスを知ろう」

講師：市民フォーラム21 松本美穂氏

日時：11月21日（火）PM7:30～9:30

場所：亀山市役所3階大会議室

参加申込・問い合わせは市民参画協働室まで（参加費無料）

### きのこ生産現地見学会（加太）

鹿伏兎山脈グループは、荒廃農地を活用し、亀山の特産物づくりに取り組んでいます。

グループの1つであるかぶんこ会は、ヒラタケなどきのこ生産に取り組む、みえの安心食材の認定も受けました。実際に活動の現場を見学しませんか？（要申込・20名）

日時：11月3日（金）

AM9:00 亀山市役所本庁玄関前集合（現地に直接行きたい方は、午前9時30分林業総合センター駐車場集合）

（内容）現地見学・意見交換・きのこの販売あり（雨天中止）

\*お弁当・飲み物はご持参下さい。

参加申込・問い合わせは市民参画協働室まで（参加費無料）



## 10月市民交流の日

### 「きらめき亀山21」

どうする？若者の未来～地域で何ができるのか～

県と「遊休人材活性化プロジェクト」を協働する東員町のNPO寺子屋プロジェクト代表井上氏に活動についてお話いただいたあと、若年無就業者の自立について地域で何ができるのか話し合います。

日時：10月21日（土）PM7:30～

場所：市役所3階第2・3委員会室

\*申込不要・無料

## 第7回市民交流会のテーマは「5年後の私と亀山」場所は西小学校に

恒例の第7回市民交流会は2007年2月25日（日）開催に決まりました。

役員は下記の皆さんで実行委員会がもたれています。

今回のメインテーマは討議の結果 **5年後の私と亀山**

**聞いてみよう話してみよう、そして広げよう**

と決まりました。ごく近い未来の5年後、2012年どんな亀山にしたいですか？そのためには今から何をしようか、アイデアを出し、自ら関わり仲間と実行しましょう！



### 亀山市の特別支援教育の現状と今後

### ぼっかぼかの会

保・幼稚園から高校まで障害のある児童生徒に対する特別支援教育のモデル事業が始まり継続されています。子ども総合支援室の西秀人先生に、亀山市の特別支援教育の現状と今後をお話いただきます。

日時 10月21日（土）13:30～15:30

場所 亀山市総合保健福祉センター2階研修室

参加費 無料（どなたでも参加できます）

申し込み・問い合わせ先 ぼっかぼかの会 浜野

電話・FAX 0595-83-4956 E-mail y\_hamano@kpa.biglobe.ne.jp

託児(かめのこスマイル) 定員5名(先着順) 希望者は浜野までお申し込みください。



市民活動  
ニュースに掲載する情報・  
お便りを募集  
しています。  
詳しくは市民  
参画協働室  
まで

編集作成：「きらめき亀山21」企画会議（問い合わせ先：亀山市市民部市民参画協働室 0595-84-5008）

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 FAX0595-82-1434 E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp

この月刊新聞はこちらにもあります。【毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市役所市民活動コーナー・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあいセンター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくりセンター・関B&G海洋センター・中央公民館・オアシス館・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・市民のショップねこの館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター（津市）】EMAIL amani@helen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/> 市民ネット <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/> 情報いっぱい「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。